



議会だより

題字 / 仲宗根 琉夏



北中城村でも SDGs

持続可能な社会への取組

社会福祉協議会と婦人会による学生服譲渡会（中央公民館）

もくじ

- 予算関係
(1月臨時議会・2月臨時議会・3月定例議会)…… 2・3
- 条例・請願・陳情・契約…… 4・5
- 一般質問 …… 6～15
- 議会の動き・編集後記 …… 16

▶ 令和4年1月臨時議会・2月臨時議会・3月定例議会

表紙写真を募集しています！

・議会広報委員会では、「議会だより」の表紙写真を村民の皆さまから募集しています。人物、風景、家族写真などテーマは自由です。なお、選考は議会広報委員会で行います。

● 連絡先

北中城村役場議会事務局
〒901-2392 沖縄県北中城村字喜舎場426-2
TEL (098) 935-4848 / FAX (098) 935-4848
Eメール gikai@vill.kitanakagusuku.lg.jp

※写真の返却をご希望の場合は、申し込み時にお伝えください。

令和4年度 一般会計予算

80億6,000万円

原案可決

前年度比5億3,200万円(6.2%)減

令和4年度一般会計歳入歳出予算の総額80億6,000万円で前年度の85億9,200万円に比べ5億3,200万円(6.2%)減となった。

歳入は、村税が減となった一方、地方消費税交付金と地方交付税が増となった。国庫支出金は、防災無線整備事業や学校施設空調更新事業の完了により減となった。

歳出は、防災無線関連工事費(総務費)、島袋小学校校舎増築工事及び防災機能復旧工事(教育費)等の完了により、前年度に比べ減となった。

主なハード事業費

(単位：万円)

- **新規事業** 標準地鑑定評価業務……………449万円
- **新規事業** 村道仲順ライカム線舗装工事……………6,169万円
- **新規事業** 熱田地区排水路整備事業……………1,087万円
- **新規事業** 村道喜舎場荻道線歩道整備事業……………470万円
- **新規事業** しおさい公苑バックネット改修工事……………1,630万円
- **新規事業** イームイ公園遊具設備工事……………1,400万円
- **新規事業** 村道北中城高校127号線護岸整備事業……………2,546万円

主なソフト事業費

- キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ先行取得事業… 2,570万円
- コミュニティバス実証事業…………… 3,943万円
- **新規事業** 地域公共交通計画策定業務…………… 1,285万円
- **新規事業** ウェルネスツーリズム推進事業…………… 822万円
- 北中城まつり活性化事業…………… 1,692万円
- **新規事業** 北中城小学校擁壁工事基金積立…………… 2,500万円
- **新規事業** 学校給食共同調理場改修工事設計事業 191万円
- **新規事業** 生涯学習推進計画策定事業…………… 219万円
- **新規事業** 公営墓地管理運営業務…………… 308万円
- **新規事業** シルバー人材センター運営補助金…………… 740万円
- **新規事業** 地域福祉計画策定業務…………… 605万円
- 高齢者等配食サービス事業…………… 1,992万円
- 地域生活支援事業…………… 5,300万円



コミュニティバス



公営墓地

令和4年度 当初予算規模

原案可決

一 般 会 計	80億6,000万円
国民健康保険特別会計	22億8,518万円
後期高齢者医療特別会計	2億2,459万円
水道事業会計予算(収益的收入+資本的收入)	5億6,907万円
下水道事業会計予算(収益的收入+資本的收入)	5億9,258万円

令和3年度 一般会計補正予算(第8号) 補正額 9,147万円

原案可決

主な事業

○ キャンプ瑞慶覧ライカムロウワープラザ地区用地取得費	△1,832万円
○ アナログ防災無線撤去工事(執行残額)	△1,000万円
○ 減債基金積立金	8,694万円
○ 新型コロナウイルス感染症対策費関連(執行残額)	△1,920万円
○ 島袋小学校校舎増築工事残額	△1,005万円

令和3年度 特別会計水道・下水道事業会計補正

原案可決

国民健康保険特別会計補正(第4号)	補正額	△286万円	
水道事業会計補正(第3号)	水道事業費用	補正額	△1,257万円
	資本的支出	補正額	3万円
下水道事業会計補正(第4号)	下水道事業収益	補正額	△30万円
	下水道事業費用	61万円
	基本的収入	△213万円	
	資本的支出	△326万円	

令和3年度 一般会計補正予算(第9号) 補正額 1,639万円

原案可決

主な事業

○令和2年度子育てのための施設等利用交付金 返納分(国庫支出金)	1,087万円
○令和2年度子育てのための施設等利用交付金 返納分(県負担分)	543万円

3月定例会での 請願・陳情、条例、契約の審議結果

議案第4号	北中城村長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について（総務厚生常任委員会付託）	可決 全会一致
議案第5号	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決 全会一致
議案第6号	北中城村特定駐留軍用地等内土地取得事業基金条例の一部を改正する条例について	可決 全会一致
議案第7号	北中城村公営墓地基金条例の制定について（総務厚生常任委員会付託）	可決 全会一致
議案第8号	北中城村手数料条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例について	可決 全会一致
議案第9号	北中城村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決 全会一致
議案第10号	北中城村子ども医療費助成条例の一部を改正する条例	可決 全会一致
議案第11号	北中城村通学バス基金条例の制定について（建設文教常任委員会付託）	可決 全会一致
議案第12号	北中城村立中央公民館の設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例について	可決 全会一致

陳情第4-4号 県立中部病院の医療体制の強化・充実を求める陳情について（要約）

陳情内容：県立中部病院の泌尿器科・腎臓（移植）内科医の定数増、人員・休日の確保、施設の整備について。

陳情理由：県立中部病院の泌尿器科・腎臓（移植）内科医は過酷な労働を強いられ、十分な休日の確保がされていない。来年度より泌尿器科医が減員されることにより、一層労働環境は悪化するものと予測される。加えて予算確保も厳しく、施設の老朽化により必要な検査、手術機器が不十分で泌尿器科において標準治療であるロボット支援手術がいまだ導入されていないのは全国の公立病院で沖縄県だけである。全国でも生活習慣病、腎疾患が多い沖縄は腎不全を扱う泌尿器科・腎臓（移植）内科の医師の定数増、人員・休日の確保、設備投資を行うべきと考える。



ロボット支援手術の機器

審査経過：総務厚生常任委員会で審議し、陳情者「沖縄県腎移植患者まーみの会」会長から陳情書提案の説明を受けて質疑を終結し採決の結果、本陳情書は全会一致で採択した。

全会一致
採択

意見書第2号 県立中部病院の医療体制の強化・充実を求める意見書（要約）

県立中部病院は、沖縄県本島中部医療の基幹病院となっており、県民の命を守るセーフティーネットとしての役割は非常に高く、高度な医療、質の高いサービスを提供している。そのような中、令和4年4月より泌尿器科医が減員し1人体制になることになり、腎臓がんや前立腺がん等多くの手術や治療診察を抱えている。特に医療費の高額な腎不全による人工透析患者は全国的に高い水準にあり、北中城村内においても人工透析患者や予備軍である慢性腎臓病患者が多数おり見過ごす事が出来ない状況にある。医師が1人体制になることは、医師への負担が増すことは明白であり夜間や休日、緊急の対応が困難な状況になり県民の命を守るセーフティーネットとしての役割が疎かになることを危惧してやまない。よって本村議会は県民が安心して医療サービスが受けられるよう強く要望する。

1. 泌尿器科の医師の増員
1. ロボット支援手術の導入
1. 機能強化に必要な財源は県の責任で確保すること。 あて先 沖縄県知事

全会一致
採択

決議第2号 ロシア連邦によるウクライナ侵攻に対し抗議し、早期停戦・撤退と平和的手段による早期解決を求める決議

全会一致
採択

去る2月24日にロシア連邦はウクライナへ軍事侵攻した。市街地でも軍事作戦を展開し、多数の民間人にも犠牲が出るなど各国から非難が相次いでいる。北中城村は、村民を巻き込んだ地上戦を経た経緯から、わが国をはじめ世界に向けて恒久平和を希求し発信してきた。このような中、世界では今なお紛争や戦争が絶えず過ちを繰り返し続けており、今回のロシア連邦によるウクライナ侵攻は許し難い蛮行で強い憤りを覚えるものである。国連常任理事国であるロシア連邦は国際紛争の平和的解決を実現するために尽力すべき立場にありながら、核の脅威のもとに武力行使を継続しており、国際法違反及び国連憲章に反する軍事行動は、国際社会の秩序を乱す脅威として強く非難するとともに、自国主義を迫及した武力行使が世界に波及することを強く憂慮するものである。よって、本村議会はウクライナの主権及び国民の命が脅かされている事態を憂慮し、強く抗議すると同時に、国際法にのっとり国際社会の結束と協調で平和的な手段による早期解決を求め、ウクライナからの撤退と常任理事国としての義務を果たすよう強く求めるものである。以上決議する。



平和的手段による早期解決を

あて先 駐日ロシア連邦大使

意見書第3号 ロシア連邦のウクライナ侵攻に対し、日本政府に外交努力と人道支援を求める意見書について

全会一致
採択

2022年2月24日ロシア連邦はウクライナに対して軍事侵攻を開始し、現在もウクライナの多くの地域で戦闘が続いている。この間ウクライナでは女性や子どもたちを含む多くの民間人が犠牲になり近隣諸国に逃れた避難民は300万人を超えたとされている。北中城村は、村民を巻き込んだ地上戦を経た経緯から、世界に向け恒久平和を希求し発信してきた経緯もあり、今回のロシア連邦によるウクライナ侵攻は許しがたい蛮行で強い憤りを覚えるものである。本村議会は日本政府に対し、日本国憲法の理念を踏まえ戦争の停止終結に向けた積極的な外交努力とウクライナに対する人道支援及び周辺国に対する避難民支援に尽力されることを要望し、同時に在日ロシア人が偏見と差別の対象にならないよう求める。

あて先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣、内閣官房長官 外務大臣 法務大臣

報告第3号 安谷屋第2地区ファームポンド施設整備工事(第2回変更契約)



安谷屋第2地区ファームポンド施設

変更請負額 77,066,000円

原請負契約を946,000円増額する。

請負者 有限会社 向陽技建 北中城村字島袋602番地の1

第1回臨時議会 1月24日

議案第2号 北中城村役場外構工事

契約金額 56,859,000円

受注者 有限会社 向陽技建

北中城村字島袋602番地の1

第2回臨時議会 2月10日

議案第3号 北中城村立小学校管理備品購入事業

契約金額 7,178,600円

受注者 有限会社 沖縄教育サイエンス

宜野湾市字愛知3丁目1番11号

村政を問う!

令和4年3月
定例議会

一般質問者
9人

議会に

来ませんが

一般質問の議会録要約文は本人執筆、議会広報委員でチェックして掲載

1 比嘉 盛一 議員…………… 7p

- ① 生きているうちに自分で墓をたてたい

2 上間 堅治 議員…………… 8p

- ① 他の団体は書類等揃え申請を行っている
- ② 農を生かした福祉の里づくり事業
- ③ 道路行政について

3 稲福 恭秀 議員…………… 9p

- ① 秩序ある土地利用と村の発展に資する拠点形成
- ② 公営墓地の適正管理と散在化防止の方策は
- ③ 暮らしを支える道路交通環境の形成について

4 大城 律也 議員…………… 10p

- ① 地域の構造変化に対応する行政基盤の強化
- ② 高齢社会は少子化問題と共にある現実
- ③ 平和学習と行政の取り組み
- ④ おくやみコーナー創設について

5 比嘉 義弘 議員…………… 11p

- ① パークゴルフ場建設について
- ② しおさい市場について
- ③ アリーナ建設等に関して

6 伊集 守吉 議員…………… 12p

- ① 防災無線の設置場所について
- ② 都市計画区域の見直しについて
- ③ 村公共施設の管理について

7 比嘉 義彦 議員…………… 13p

- ① 高齢者の生前予約認めてはどうか
- ② 早めに決断し周知を

8 山田 晴憲 議員…………… 14p

- ① 学力の低下で2,000兆円の損失
- ② 早急に保育土確保を

9 喜屋武すま子 議員…………… 15p

- ① しまぶく学童クラブの待機児童解消の実現を
- ② お悔やみコーナーの設置を

生きているうちに

自分で墓をたてたい



比嘉 盛一 議員

詳細は動画からCheck!



問 今回は公営墓地において、生前の墳墓建立を認めてもらうための質問である。過去5年間の墳墓建立の実績を問う。

答 平成28年から令和2年度までの合計で102件、その内、56件が村民の申請である。

問 その中で生前の墳墓建立は何件か。

答 申請時の項目にないので確認していない。

問 条例制定時に生前の墳墓建立を認めて欲しいと疑問を呈していたのに、なぜ、追跡調査をしなかったのか。

答 墓を建立するときには墓地等の経営の許可の条例及び施行規則にのっとって許可申請を出すことになっている。正確には把握はしてないがおそらく生前に造られた墓が多いのではないかと思う。

問 生前墳墓建立については12月議会

答 生前墳墓建立に

問 の時に問題提起している。5年間で村民申請僅か56件、追跡調査することにより実態がわかる。これからでも追跡調査をして欲しい。

答 住民福祉の向上に質するものであれば追跡調査も可能である。

問 12月議会で墳墓の生前建立について

では別途規則等で定めるとしているが規則に定められたのか。

答 まだ正式には発していない。まだ詰めるところがあり、4月1日の施行までには決めたい。

問 施政方針中の「生活習慣病の重症化予防とフレイル予防等の介護事業を推進する」としているが、高齢者の墓がないとのストレスはフレイルを引き起こす要因とならないか。

答 そういう現象があれば、当然、見直しをすることもある。

問 納骨堂についても募集期間が設けられているが、人はいつ亡くなるかわからない。納骨堂は随時受付すべきではないか。

答 基本的には募集期間ということになるが、担当課が対応で

なるが、担当課が対応で

できるのであれば随時受付してもいいと思う。

問 12月の委員会で村外の者でも規制区外での申請があった場合、公営墓地に案内するという答弁があったが、総事業費7億5千万円、一般財源1億5千万円の費用が掛かっている。村外の者には利用させるべきではないと考えるが村長の考えを問う。

答 村内の者が死亡し、祭司を主宰する者が村外の場合でも、誘導することは可能である。

言葉の説明 フレイル
フレイルは高齢者においてよく認められる老年症候群である。フレイルには身体的・精神的・社会的な要因がある。



北中城村公営墓地

他の団体は書類等揃え申請を行っている

村長…今回は立ち上げ段階での支援



上間 堅治 議員

詳細は動画からCheck!



問 シルバー人材センター交付規程がまだ確認出来ていない。

答 令和4年2月27日告示第11号で北中城村シルバー人材センター運営補助金交付要綱を作成済。

問 9月の補正予算では予算書、規則等の提出はあったのか。

答 各種団体の補助金を使って支出。歳出計算もあり人件費として提出されている。規則に関しては、発起人会から準備会を立ち上げる段階で規則等はない状態。

問 多くの補助団体があり総会を行い書類も作成し補助金申請している。他団体との違いは。

答 規則等整備して補助金のあり方もある。今回は、立ち上げの段階で支援の要請を受け援助を行なった。

問 シルバー人材センターに対し村職員のかかわりは。

答 理事として企画振興課長、福祉課長が入る。

問 監査としても入ってもらいたい

答 基本的に補助金交付というのは毎年一定額ではない。毎年行政として査定すべきである。

農を活かした福祉の里づくり事業

問 農を活かした健康・福祉の里づくり事業の進捗状況は。

答 令和3年度は、整備事業者の補助

金活用支援と整備事業者選定を行っている。

問 三重県への先進地視察の目的と成果は。

答 バイオマス発電とグランピングを視察。事業計画の先進地視察になる。

問 バイオマス発電等事業者も決まっている中グランピングの話もあり、村の持ち出しが大きくなるのを危惧している、なぜ視察に行かなければ行けないのか。

答 これから具体的な計画にないがイメージを高めるための視察である。

問 民間の資本も入るとのことだが村の持ち出しは。

答 民間活力も活用した事業ということで5億円弱。沖繩振興補助金の活用も検討している。

道路行政について

問 鳥袋区内スクールゾーンの看板で速度制限は可能か。

答 速度規制はできないがドライバーへの注意喚起として表示している。

問 看板をみると経年劣化で真っ白なものもある。このような物で注意喚起ができるのか。

答 古い看板もあるので、今後関係機関と調整して新たな看板の設置が可能か検討したい。



昭和59年に設置されたスクールゾーンの看板

秩序ある土地利用と

村の発展に資する拠点形成



稲福 恭秀 議員

詳細は動画からCheck!



問

秩序ある土地利用と村の発展に資する拠点形成について、東海岸地域は県が想定する津波浸水区域内にあることにより土地利用が厳しい状況にあり、今後土地利用の在り方について、検討を進めるとのことだが、具体的な構想はあるか。

答

具体的な構想はないが、検討を進めるにあたり調査方法や財源をどうするか、基礎的な部分から検討する予定である。

問

東海岸の土地利用について、同地域に公共事業の投入や宅地確保対策について公約

問

にあるが考えが変わったのか。

答

津波対策の課題があり減歩率が非常に大きいため、なかなか進まない状況である。

問

中部広域都市計画移行について、

令和元年に前新垣邦男村長と中城村長が連名で県に要請した経緯があるが、継続的に協議を行なっているか。また、県は移行要請を受けて、両村に対し今後共通したまちづくりに関する方針を策定するよう求められているが、取組は進んでいるか。

答

中部への移行がなぜ必要か具体化して行く必要がある、共同のまちづくりを両村で整理している状況である。

公営墓地の適正管理と散在化防止の方策は

問

公営墓地整備も完了し、今後、公営墓地の適正な管理運営において散在化防止の方策は。

答

墓地の散在化防止に関し、村内、村外在住で規制区域外である地権者の墓地建設について、公営墓地への利用案内を則していく。

問

墓地経営許可申請が年間20件ほどあるが、墓地を購入しての墓地経営許可申請は、極力認めるべきでないと思うが。

答

今後検討して村内に墓地が出来ないよう方策を取るべきだろうと考えている。

問

墓地の経営許可は墓地の散在化に繋がり、公営墓地への集約化や散在化防止に繋が

らない気がするが、墓地規制区域を広げるのは可能か。

答

関係課を含めて相談し、規制区域を広げることは可能だと思つ。

暮らしを支える道路交通環境の形成について

問

公共交通空白地域が多数存在し地域移動に課題があり、コミュニティバス実証実験の運行ルートを拡充し既存の公共交通と連携したネットワークを構築することですが、具体的な内容は。

答

路線バスやタクシー、あやかりの杜バス等の村内既存公共交通の役割と位置付けを明確にし移動利便性を上げる。

※他に平和運動・国際交流の推進について質問した。



宅地開発が進まない東海岸地域

地域の構造変化に対応する行政基盤の強化

詳細は動画からCheck!



大城 律也 議員



急激な変貌を遂げるライカム地区

問

地方行政の存立をなすものは、地域社会である。ライカム地域の人口流動の定住化に伴い、地域一体性、連帯感の欠如が顕著となり、居住自治体に対する帰属意識の希薄化、自治意識の低調が憂えられる。地域防災対策の推進にも悪影響をもたらす。コミュニ

答

ニティーの速やかな形成確立が必要である。自治会は、地域に住む人々がより良い環境の下で生活できるように共同する組織である。行政としても、コミュニティの速やかな形成のため積極的に協力していきたい。

高齢社会は少子化問題と共にある現実

問

高齢社会とは、高齢者が総人口に対して、一定以上の割合で存在している状態である。本村においても高齢化は急速に進行しているものと考えられる。2020年調査では総人口の約22%、4・5人に1人は高齢者となっている。安定した住環境の確保や、高齢社会に適したまちづくりである。交通手段の確保、犯罪、災害などからの保護などの取り組みが必要である。

答

村高齢者保健福祉計画における推計では2040年には本村の高齢化率は26・3%と見込まれる。高齢者世帯の増加など、介護ニーズがさらに増加する。生き生きと暮らしている地域づくりに取り組んでいきたい。

平和学習と行政の取り組み

問

終戦から77年、日本復帰50年の節目である。先輩方の戦争体験である。再びあの過酷な暗黒の時代を繰り返してはならないと強調している。戦争風化の危機である。沖縄戦を追体験できる平和学習の場として大きな役割を果たしている佐喜眞美術館。戦争の記憶をいかにして継承するか問われている。

答

村定例校長会において、佐喜眞美術館の令和4年度における平和学習での活用について説明し、お願いした。平和を守る村民の会と連携し、平和学習の機会ができればと考えている。

おくやみコーナー創設について

問

高齢化によって配偶者が高齢となるケースで死亡相続に関する手続きの負担は一層大きくなるものと予想される。おくやみコーナーを設置してワンストップで負担軽減に取り組む必要がある。

答

住民生活課において、死亡届があった場合に国民年金の手続き、福祉課、健康保険課、税務課等での手続き、法務局管轄の相続等の手続きに関する説明資料を配っている。開設した場合、10種類くらいまで対応可能と考えられる。

パークゴルフ場

建設について



比嘉 義弘 議員

詳細は動画からCheck!



問 前村政において、パークゴルフ場の建設計画を進めていたと思うが、いつの間にかその事業計画が話題にもならなくなった。前村政の公約ではなかったかと考えるが。

答 パークゴルフ場建設は前村政の公約と認識している。

問 何故、その点に拘るかというところは調査のために先進地の久米島に行ったことがある。念のため、私はパークゴルフ場よりも陸上競技場建設を優先させたいと考えてあった。

答 現時点では建設に向けた計画はない。

しおさい市場について

問 しおさい市場が指定管理者の下で機能するようになってから約1年を経過しようとしている。村から1,100万円が補助されているため、村の農業振興に大きく寄与しているものと考えている。基本的には村の農業を中心とした分野の発展を目的としてしおさい市場は存在している。農家の皆さんに声掛けし野菜等の調達をしていると思うがどうか。

答 農家の皆さんとこういう言い方は齟齬が生じるので、正確には北中城村地産地消協議会

アリーナ建設等に関して

問 アリーナ建設の事業計画は前村政の最も力を入れた事業。現在においても極めて厳しい事業と考えている。従来通り継続して行く考えか。

答 アリーナ建設については庁内検討会の意見も踏まえ事業中止とする場合は支出済み補助金に利子を含め返還金が高額となること及び未買収用地を実勢価格で買収するとなれば大幅な事業費の増大となり村の

財政を圧迫すること、何より取得済用地の地権者の方々の事業に協力いただいた想いに応えるためにも、規模を縮小し施設内容、利用方法等について見直しを図り、村民の交流及び防災拠点に資する施設整備として事業継続することが、最善の選択であると考えている。なお施設規模を縮小することにより、事業費（用地費、建設費）は縮減され村財政への影響は最小限に留まるものと考えている。

問 しおさい市場は北中城村地産地消協議会と記されているが間違いないか。

答 しおさい市場に変更して貰いたいとイオン側に申し入れを行なっているところである。



建設予定のアリーナの広場

防災無線の設置場所について



伊集 守吉 議員

詳細は動画からCheck!



問

防災無線は防災情報をいち早く村民に知らせる役割以外に村民向けの広報等幅広く活用されている。しかし、新しく設置した防災無線は音声が届きにくいと一部自治会から声があった。防災無線設置場所変更の理由と場所の選定について伺う。

答

音達シミュレーション、電波伝搬調査に基づきスピーカーの再編を行っている。場所の選定については村有地であること、建柱車の作業の可否や公民館については自治会長へのヒアリングで決定した。

問

村民から音声が届かないとの声はなかったか。

答

整備が完了してから現在まで4件の苦情も1件あった。

問

担当課で音声が各方面に届くか確認してから設置場所は決めたのか。

答

直接職員が出向いて行っているわけではなく、専用の機器で調査している。

問

これまでの防災無線は自治会の各班の真ん中あたりに設置されていたが、今は端っこに移してある。これでは離れている所は音声が届かないと思うが。

答

聞こえないという問い合わせに対しては職員と業者が現地に行つて確認してスピーカーの増設や向き調整、音量の増減の確認などを経て対応している。

問

防災無線の設置場所の近くに病院がある。音量を上げるとこの病院への影響はないか。



音声が届きにくい防災無線、設置場所が問題か

答

安静にされている方が入院している場合は影響があるかもしれない。ただし、まだ病院から問い合わせや苦情はない。

都市計画区域の見直しについて

問

都市計画区域の見直しについては両村の担当者間で連絡調整を頻繁に行っているとのことだが、話し合いは進んでいるのか。

答

県・国へ提案していくため有識者も含めた委員会を開催して、その意見も踏まえて今後整理していく。両村での熟度はまだ達していない状況である。

村公共施設の管理について

問

多くの村民が利用している屋原公園で落書きがあった。この公園は保育園児や親子連れが楽しく遊んでいるのをよく見かける。注意看板やパトロール以外に何か対策を考えているか。

答

現時点で具体的な対策というところまでは至っていない。

問

落書きがあった昨年の10月頃から約半年がたっている。子ども達にも影響を与えると思うが修復する予定はあるか。

答

できるだけ早めに修復、改善できるように予算状況も見ながら対応する。

高齢者の生前予約認めてはどうか

村長…例規の判断基準等を今月中に作る



比嘉 義彦 議員

詳細は動画からCheck!



問 3月28日から第一期の募集が始まるが次の点について伺う。第一期募集の詳細。募集

についての問い合わせ件数と内容。第二期募集の予定時期。

答 墓地用地を50基募集する。問い合わせは3月15日までに172件、内容は条件確認が多かった。2期募集はまだ決めていない。



造成が完了した公営墓地

問 生前予約ができないというところで、いろんな方から問い合わせが我々議員にある。特に高齢者の皆さんから、これまでの情報を検討委員会で議題にすれば何か得るものがあると思うが。

答 死亡届の提出案件が3つあり、村外で提出された場合、予約者が亡くなっても担当課の確認が難しいということ。生前予約はできないことに決めている。

問 予約をしたことを家族に話をしていないことを想定してと思うが、何人位いると思うか。

答 何人ということではないが、死亡届を受けている担当課の感覚である。

問 職員の業務を軽減するためか。

答 職員の業務の軽減ではない。生前予約をすると当初で埋まるんじゃないかという危険があり、亡くなったら一時納骨室に預けてお墓を建設することができると考える。

問 高齢者の生前予約を認めてはどうか。

答 例規の判断基準等を今月中に作る。

早めに決断し周知を

問 法改正により、今年の4月1日から成年年齢が20歳から18歳に変わる。国は、成人式の時期や在り方については、各自治体の判断に委ねるとしている。18歳から20歳が対象となるが、令和4年度の成人式の年齢対象について伺う。

答 内閣府の世論調査で20歳で式典を望む意見が70%を超えている報告がある。本村も決定ではないが、20歳の集いで予定している。

問 式典に参加する皆さんは、着物や袴を1年前から予約すると聞いている。迷惑をかけないように早く決断し周知しては。

答 4月の教育委員会に諮り長の決意を貰う。

学力の低下で 2,000兆円の損失



山田 晴憲 議員

詳細は
動画から
Check!



問 コロナ関係・学級閉鎖に学校現場のオンライン授業、GIGAスクール構想支援のマンパワーは大丈夫か。

答 学級閉鎖等の持ち帰りでの学習保障、関係業者等と話し合いの継続検討。教員の負担感は、学習指導要領の取組み、感染症対策、GIGAスクールの取組等、ニーズを捉えた指導の頑張り、教育委員会はサポート、指導と子供達の安全を最優先。

問 新型コロナ禍で生涯収入減学力の低下で2,000兆円の損失世界銀行が警鐘を鳴らしている。国内・世界教育経済学者から懸念の声が。わが村は教育立村子どもの環境・先生の環境が一番。マンパワー、特別支援体制等の強化を。

答 教育が世界経済に与える影響が、これほど大きいとは教育委員会に則した事業があれば、支援していきたい。

問 新型コロナ禍等、子育て世代の皆さんの諸事情による学童保育の一時預かり、安全安心して仕事に専念可能な環境づくりを。

答 既に待機が出る状況も見込まれ厳しい。対策として、児童館で夏休み等期間中に昼時間を受入れを行う等低学年を中心に学童の補完事業。

問 しまぶく学童クラブ保護者会要請書回答内容等は。

答 島袋小学校区内は利用者増があり、今後計画の見直しを行っていく予定。令和4年4月の待機児童が生ずる状況は、既存の村内学童で受入れ調整を初め、待機児童が発生しないよう検討する。

問 説明会の予定は。

答 教育委員会、関係課と島小周辺を視察を行い、施設整備等

に厳しい面もある、児童館計画で可能と思う。保護者会との話し合いは実施したい。



学校現場へマンパワーの充実を

早急に保育士確保を

問 二次調整後の保育入所待ち人数の詳細は。

答 複数の施設で保育士の確保ができません。現状の見込、入所利用調整を続けている状況で二次調整後の入所待ち人数の確定はまだ。現時点で、特に1歳児が人数受け入れできない。

問 現状から希望通り入所できない子育て世代がいると思うが、保護者の皆さんに納得頂ける対応策についての考えは。

答 保育士確保支援を継続、他市町村施設への広域利用を含め対応。県から積極的に市町村間の広域利用を促し、施設に空きが出ないように取組み。村内に、認可外施設、特に企業主導型の設置、整備された保育所が増えていることから活用も考えたい。

しまぶく学童クラブの

待機児童解消の実現を



喜屋武すま子 議員

詳細は
動画から
Check!



問

令和3年12月議会でしまぶく学童クラブの待機児童の解消について、知恵を出し合い学童クラブを必要とする全ての児童が利用できる環境整備が必要であると訴えた。当局は、年度の申込み状況を確認し、対策を検討していると答弁した。では現状はどうなっているか。2月末現在村内6か所の定員数と入所数を伺う。

答

学童ふれあいクラブの定員が70人に対し利用児童66人、アリス学童クラブは定員30人に対し34人の児童、すてら学童クラブは、定員30人に対し28人の児童、大空子どもクラブは定員40人に対し24人の児童、はんにすキッズ学童クラブは定員40人に対し24人の

児童、しまぶく学童クラブは定員61人に対し61人の児童。定員数合計が271人で利用児童数は247人となっている。

問

令和4年度4月1日にしまぶく学童クラブの待機児童数は、解消されるか。

答

次年度は、定員を超える申込みがあり、受け入れできなかった児童が20人おり、待機が発生すると見込む。

問

学童クラブの対策は、どのように検討されたか。

答

平成31年2月のニーズ調査を踏まえて第2期村子ども子育て支援事業計画に基づいている。令和4年度の

利用見込み数226人に対し定員数271人、定員については、最大311人の受皿の整備がされているが、約285人の利用申込みがあった。学童クラブの整備が進み、

島袋小区内及び高学年児の利用など、新たな利用ニーズの掘り起こしに繋がったと考える。これらの実績を基に計画の見直しをする。

問

しまぶく学童クラブの保護者会の要望書をどのように受け止めているか。

答

しまぶく学童クラブは、県内でも先駆的な取組をするなど事業運営面でも優れており、保護者からも高い評価をされていると考える。一方2期事業計画の見込

問

利用見込み数226人に対し定員数271人、定員については、最大311人の受皿の整備がされているが、約285人の利用申込みがあった。学童クラブの整備が進み、島袋小区内及び高学年児の利用など、新たな利用ニーズの掘り起こしに繋がったと考える。これらの実績を基に計画の見直しをする。

答

しまぶく学童クラブは、県内でも先駆的な取組をするなど事業運営面でも優れており、保護者からも高い評価をされていると考える。一方2期事業計画の見込

みを超える利用者ニーズにより希望者の受け入れができない状況となり、大変申し訳なく思う。

問

当局は、待機児童が発生している

ことを受け止め、努力をし理解を深めてほしい。

答

保護者の皆さんとは、お話し合いをしたい。

問

お悔やみコーナーの設置を検討してほしい。

答

北中城スタイルでやれる方向で進める。

お悔やみコーナーの設置を



那覇市役所ハイサイ市民課

議会のうごき

議員が参加した行事・研修

● 公式行事、研修会、勉強会の参加

- ☆ 2/22 DX 研修会(議場) ☆ 2/25 町村議会議員・事務局職員研修会(読谷村)
- ☆ 3/12 北中城村中学校卒業式 ☆ 3/23 北中城小学校・島袋小学校卒業式
- ☆ 4/ 6 北中城村中学校入学式 ☆ 4/ 8 北中城小学校・島袋小学校入学式

DX(デジタルトランスフォーメーション)研修ではデジタル技術を活用することにより役場業務の効率を上げるなどDXについて知識を深める。議員研修は、選挙公営、新型コロナウイルスの流行状況と感染対策について学んだ。卒業式、入学式は議長副議長のみの参加。



DX 研修会



町村議会議員・事務局職員研修



同意

教育委員
字萩道
城間 健二 氏



諮問

人権擁護委員
字屋宜原
上里 幸春 氏



北谷町議会議員行政視察受入れ

まん延防止等重点措置が解除になり、落ち着いてくると思われた新型コロナウイルスが4月に入り再び感染拡大し始めて、人口10万人当たりの感染者は全国ワーストとなっている。特に20代以下の感染者が約5割と増加している。県は28日までを感染拡大防止と社会経済活動を継続する期間とし、子どもと高齢者を守る取り組みやワクチン接種を呼びかけている。また、新型コロナウイルスの影響で公的年金額の引き下げもある中、4月1日からは食品や日用品などの値上げが相次ぎ、生活への負担も大きくなっている。このような状況の中で正常な社会経済活動を取り戻すには、今のところ各自の感染対策とワクチン接種以外ないと思う。

すべての県民の協力のもと感染者が減少し安心して生活ができる日がくることを願っている。

広報委員 伊集 守吉

編集後記

発行責任 北中城村議会議長
編集 議会広報調査特別委員会
2022年6月25日発行

編集委員 委員長/上間堅治 副委員長/稲福恭秀

委員/安里道也 伊集守吉 喜屋武すま子

〒901-2302 沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場426-12

TEL&FAX 098-1935-4848